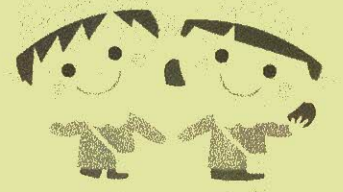


# 幼稚園がなくなれば・・・

「もし東谷幼稚園がなくなったらどこへ行くの。牧の台は一杯よ」  
 「うちのお父さんも東谷幼稚園。歴史や地域の方の努力を考えてほしい」「園児が集まらないというが、保護者の要望が強い3歳児保育と給食を実施したら良いだけ」  
 「こども園にしたら良い」など。



清和台幼稚園の閉園計画や東谷幼稚園など就学前の施設の今後の計画についてはあまり知られていません。知らされない間にいつの間にかなくなってしまう。そんなことがないようにしなければなりません。時間的に費用的にも負担が大きくなる公立幼稚園や保育所の統廃合はやるべき、公的保育・教育の責任を果たすべくです。地域で顔が見える子育てを応援できる環境作りが大切です。

## 舎羅林山開発の「かわら版」

(下表参照)

「(仮称)川西市舎羅林山産業団地開発事業・かわら版」が、「(株)近畿興産」から発行されています。今回のまちカフェでは第2号をお渡ししています。作業所のホームページができて、最新の工事予定や状況などの情報が確認できるようになっています。

## 市内の私立園に必要な費用など

願書、検定手数料	1000円~20000円
給食費	2300円~8200円
保護者会、父母会 会費	300円~800円
同窓会、後援会 費用	200円~700円
入園金	30000円~60000円
施設費	20000円~40000円
教材、教育費	2000円~30000円
他に、冷暖房費、絵本代、特定保育料、預かり保育料、バス代など必要に応じて、月々や年間費用あり	

※ 教育費の無償化は、基本保育料だけなので、園所によって、上記の他に、制服代やカバン代、体操服などの費用が必要です。  
 (2022年2月それぞれのホームページより抜粋)

## 市立川西病院の職員体制について



		常勤職員数(人)	元市職員	左以外	入院・外来患者数
令和元年度	医師	31	21	10	H30年度(1日平均) 入院 156.0人 外来 395.0人 病床利用率 62.4%
	看護職員	129	94	35	
	助産師	7	6	1	R元年度(1日平均) 入院 127.1人 外来 348.5人 病床利用率 50.8%
	准看護師	5	3	2	
	小計	141	103	38	
	医療技術者	49	18	31	
事務職員	17	0	17		
計		238	142	96	
令和4年度	医師	34	9	25	R3年度(1日平均) 入院 120.8人 外来 325.3人 (推計値)
	看護職員	136	61	75	
	助産師	13	2	11	※総合医療センター 9月1日引越予定
	准看護師	1	0	1	
	小計	150	63	87	
	医療技術者	52	15	37	
事務職員	52	0	52		
計		288	87	201	

## せめて約束の北部診療機能を

「誘致」し、「キセラ新病院と一体運営」も「シャトルバス」もな

新医療態勢への不安

以前からお伝えしているように、今井病院(リハビリ病院)が建設・稼働するまでは、現病院の建物を使って「内科・小児科、平日午前診のみ。日祝日は応急診療所機能を移す」計画です。

川西病院の統廃合の問題は、計画発表からずっと同じ憤りや怒り、不満・不安が続いています。

来春のリハビリ病院開院後は、同病院内に同診療科ができる予定です。現計画に変更がないことをお伝えし、担当の作田哲也健康医療部長にも改めて確認させていただきました。

市内から急病ベッドが158床減ること。新病院のベッドの数はどうなるのか「北部の住民病院が建っていますが、駐車場の確保が曖昧なまま、市民のための公的医療を確保できない。」

## 現川西病院がなくなると？

「ここから病院がなくなったんの外来機能が消えること。市内から急病ベッドが158床減ること。新病院のベッドの数はどうなるのか」「北部の住民病院が建っていますが、駐車場の確保が曖昧なまま、市民のための公的医療を確保できない。」

## 一人ひとりの育ち保障

「公立でなくても私立へ行けば良い」「教育の無償化が進んだ」と市は言いますが、無償化は基本的な保育料のみです。給食費だけでも園によれば2倍以上の開き

鹿たちの群れも



が寄せられました。

「2枚目につづく」